

令和7年度 第一回 地域連携推進会議 議事録

社会福祉法人 大館圏域ふくし会
グループホーム 矢立育成園

◆開催概要

日 時：令和7年11月21日(金)13:30～16:30

場 所：矢立育成園 食堂

出席者：構成員～利用者 A様
B様
C様
地域の関係者 D様
利用者家族様 E様
福祉の関係者 F様

施設職員～施設長 1名

補佐、係長（進行） 2名

事務員 1名

世話人（記録） 2名 （サービス管理責任者欠席）

- ・会議開催前にグループホーム（女子：なごみ、えみ 男子：ゆきわり、ふくじゅ）を見学する

1. 開会の挨拶

2. 施設長挨拶

まずは、地域連携推進会議を初めて開催するにあたり会議の前にグループホームを見学していただきました。実際に見学をして生活風景や施設設備をご覧になっていただいたうえでのご意見や質問等を自由に発言していただき、有意義なものにしていきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。

グループホームの現在の状況ですがバックアップ施設であった矢立育成園（入所施設）廃止に伴い夜間帯は職員不在の状況になっております。

グループホームの生活介護利用者については現在は矢立育成園で受け入れしていますが来年度より白沢通園センターと統合する予定のため、統合した場合に生活介護利用者をどのようにしていくかを検討しなければなりません。このまま矢立育成園で生活介護利用を継続していくとなると建物の維持にはかなりのコストがかかり生活介護利用者の報酬だけでは賄っていけないのが現状であることから、法人として

は今後矢立育成園の建物は使用せず白沢通園センターに拠点を移し、白沢通園センター内で生活介護を運営してはどうかとの話が出ております。報酬改定が3年に1回ありますがどんなに報酬改定をしても物価高騰に伴う影響は大きく運営状況が厳しい事には変わりはありません。しかし、現在入居されているグループホーム利用者の方々に関しては生活の場であるため守っていかなくてはなりません。大館市障害福祉係にも色々と相談させていただいておりますが、今後も地域の皆さんや各関係機関の方々に協力を賜りながら事業を進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

3. 自己紹介

出席者紹介後、自己紹介

4. 会議・課題

○事業所の紹介 (施設長補佐)

事業所名 社会福祉法人大館圏域ふくし会 グループホーム矢立育成園
事業所種類 外部サービス利用型指定共同生活援助

利用定員 (男子) つくしもり 平成 18 年 4 月 1 日開設 利用定員 6 名
ふくじゅ 平成 22 年 4 月 1 日開設 利用定員 6 名
ゆきわり 平成 22 年 4 月 1 日開設 利用定員 5 名
(女子) え み 平成 22 年 4 月 1 日開設 利用定員 6 名
なごみ 平成 22 年 4 月 1 日開設 利用定員 5 名

現在、男子 17 名、女子 8 名、合計 25 名が入居中

職 員 令和 7 年 12 月 1 日現在
サービス管理責任者 1 名
世話人 常勤 2 名
パート 7 名

○利用者状況について

平均年齢 男子 57.0 歳 女子 55.0 歳 全体 56.3 歳
最高齢 80 歳 最年少 29 歳

出身市町村 大館市 19 名 能代市 2 名 鹿角市 1 名 湯沢市 1 名
潟上市 1 名 五城目町 1 名 三種町 1 名

手帳保持者 療育手帳 23 名、障害者手帳 2 名

障害支援区分 未認定 3 名、支援区分 2 の方 1 名、3 の方 13 名、4 の方 7 名、5 の方が 5 名で平均区分は 3.43 となっている

○日中活動内容

就労継続B型利用者 12 名（白沢通園センター、チョコおおだて）

一般就労 6 名

生活介護利用者 8 名（矢立育成園生活介護利用 月曜日から金曜日）

- ・外出 主に交通機関の利用が困難な方へ月 1 回買い物支援を行っている
- ・通院 通院で支援を必要とする方への送迎及び付き添いを行っている
- ・食事 世話人が朝、夕の食事を作り提供している
- ・行事 社会見学日帰り旅行と食事会を年に 1 回、その他季節の催しに合わせて希望を聞きながら行事を実施している
(お花見ドライブ、野外昼食会、カラオケ大会、家族交流会など)
- ・夜間緊急時 矢立育成園がバックアップとなっているが 11 月から本体の夜勤体制がなくなっているため連絡があれば電話で駆け付ける体制としている

●出席者より

【福祉の関係者 E 様】

- ・世話人が帰った夜間帯に利用者の体調が悪くなった場合はどのように対応しているのか。また、自然災害が多くなってきているが、夜間に強い地震等が来た場合はどのような対応となるのか。

11 月 1 日よりバックアップ施設の矢立育成園に 17 時以降職員がいないという状況になったため緊急を要することが発生した場合は矢立育成園に電話をかけてもらうことでその日の電話当番に転送となり対応することとしています。状況によっては看護師が直接駆けつける体制も整えており自然災害に関しては BCP に沿って訓練等を実施し、夜間帯に震度 3 以上の地震が発生した場合は利用者（各棟）から電話当番へ安否確認の連絡ははいることになっています。連絡がなかった場合は電話当番が状況確認の連絡をとり駆けつけることとしています。水害に関しても女子棟近くの川が氾濫しそうな場合は前もって矢立育成園に避難するよう対策し、火災については火災報知器が作動後、消防署をはじめ、施設職員は連絡網に添って招集がかかることになっています。

- ・グループホームを見学した際に地域の方々と一緒に防災訓練を行っている
聞いた。職員が駆け付けるより地域の方の方が早く駆け付けることが多いだろう
と感じたので今後も地域の方々との関りを大事にしていきたい。

○地域活動内容

- 1月～ ハチ公スノーレンジャー除雪ボランティア活動
社会福祉協議会より要請があった場合は利用者と職員で地域へ訪問し除雪
を行っている
- 2月～ 矢立小学校交流会
小学校より生徒が来園してくださりその月の行事で使用する装飾品の制作
を一緒に行うなどしている
- 3・4月～ 粕田地区クリーンアップや粕田神社の清掃は利用者数名で訪問し地域の
方々と一緒に作業を行っている
- 6・9月～ 県北地区施設交流球技大会や県北レク大会では他施設の利用者や職員の方
々と交流を図りながら楽しく参加している
- 11月～ 白沢4区側溝清掃や道路整備では職員と共に参加し地域交流の場として作
業を行っている

○運営状況の報告

(令和6年度)

- ・定員28名のところ、空床や入院が続いている方もおり稼働率は88%で年間の平均
利用者数は24.6名となり収入が伸びなかった
- ・世話人の募集をかけているが応募がなく正職員を世話人として配置しているため人
件費が増となっている
- ・今年度の大きな支出として女子棟(なごみ)浄化槽のポンプの交換に25万円かか
っており昨年は大雪の影響で室外機が破損し修理を行ったほか、除雪作業中に女子
棟の外壁の破損もあり修繕費用がかかっている

(令和7年度)

- ・6年度に続き稼働率は88%で現状の状態が続くと今年度も6年度と同等の収支だと
思われる
- ・大きな支出として男子棟(つくしもり)女子棟(えみ)のテレビ故障による買い替
えが発生したことや女子棟(えみ)の浄化槽のポンプ修繕費用がかかっている

●出席者より

【福祉の関係者 F様】

- ・今後、矢立育成園の建物は何かにする予定はあるのか。建物ができて何年経っているのか。

施設入所をなくした根本的な理由が、築年数 45 年ということもあり建物自体の老朽化が主な原因となっています。修繕するとなるとかなりの費用がかかることと人材確保が難しいのに対し利用者の数は変わらず職員の数だけが減っていくという現状から国が定めている規程での運営は難しいと考えております。

- ・グループホームから矢立の生活介護にきている利用者は 8 名と聞いたがその他の利用者は日中はどのようなサービスを利用しているのか。

一般就労している方が 6 名、就労継続支援 B 型を利用している方が 12 名で白沢通園センターやチョコおおだてを利用しています。

- ・現在、グループホームに空床はあるのか。

女子に 2 床空きがあり、各関係機関とも連携をとりながら入居者を探していますがなかなか希望者がみつからない状況です。原因として近くにコンビニなどの商業施設がない、出掛ける際に交通機関を使わなければならないため本数も少ないため不便さがあるなどが要因として考えられます。

○苦情・ヒヤリハット・事故報告について

苦情～ 令和 7 年度なし

ヒヤリハット～1 件 資料をもとに説明

その他～ 1 件

事故報告～ 2 件

《傾向と対策》

ヒヤリハット報告ではゴールデンウィーク帰省の際に薬を入れ忘れてしまう事故が発生。家族からの薬が足りないという連絡で発覚している。その他 1 件は業務車両の給油カードの一時紛失があった。事業所に戻ったところにガソリンスタンドから連絡が入り見つかった。いずれも大丈夫だろうという思い込みから発生しているため確認作業は集中できる環境で余裕をもって行い、複数チェックすることを徹底し再発防止に努めている。

事故報告では誤薬が 2 件発生している。朝と夕、夕と就寝薬のセット間違いによる誤薬であった。いずれも世話人が薬の提供をして起こったことだが薬の取り扱

いに関して世話人それぞれにやり方に違いもあることから支援方法の統一をもう一度再確認し集中して取り扱う、声出しチェックを行うなどを徹底し再発防止に努めている。

○防災について

〈防災体制について〉

- ・火災発生時には自動火災通報装置にてホットラインが作動し消防署、職員連絡網、消防団、地域防災協力員に連絡がまわるように協力・連携を図っている。
- ・防災の備えとして食料は3日分の確保を行っている。
- ・防災協力として年1回の避難訓練の実施を行っている。女子グループホーム（以下GH）においては、水害対策訓練も実施している。
- ・日頃からの防火対策として今年度は消防職員からの講話会も開催している。
- ・防犯対策としてセコムを導入している。

〈地域防災協力員について〉

- ・町内役員より選出していただき、男子GH、女子GHにそれぞれ3名ずつの協力をお願いしている。
- ・入居者の顔を覚えてもらい、避難動作の確認をしていただくためGHの避難訓練開催時に参加を呼びかけ訓練見学を行っている。

〈熊対策について〉

- ・各ホームへのポスター掲示、外出時の団体行動の呼びかけ等を行っている。
- ・ゴミ出しは入居者が行っているが熊の出没期間は職員が巡回時に収集しゴミ出しを行っている。
- ・北秋田市の施設でゴミ出しに行った利用者が熊に襲われるという事故があったため利用者には都度注意喚起をしている。矢立育成園では外に向かって音楽を大音量でかける、爆竹を鳴らす等行っている。

●出席者より

【地域の関係者 C様】

- ・一通り説明があったが生活介護や就労Bといったシステムが分かりづらい。簡単に教えていただければ。

グループホームの利用者の方々に自分がどういう生活を望んでいるのかを聞きそれに基づいた支援計画をサービス管理責任者が立案し支援していくというかたちになっています。例えば「日中は就労して工賃をもらいたい」となれば就労Bを利用し、単独の外出が困難な場合や病院に同行通院が必要な場合、または入浴や食事など一連の生活動作に支援が必要な場合は生活介護サービスを利用という

流れになります。

- ・支援した後はどうなるのか。できないことが出来るようになれば退去しなくてはならないのか。

利用者が入居を希望している限りは生活し続けることは可能ですが別の施設へ行きたいとの希望があった場合は都度対応することとしています。

- ・社会福祉協議会はどのような携わり方をしているのか。

(福祉の関係者 F様)

制度的な部分ではなく、後方的な支援が主であり、町内と地域の橋渡しのよ
うな仕事をしています。

【福祉の関係者 F様】

- ・入居者の中には60～70歳代が多いようだが次の施設への調整等を行っているのか。

比較的健康な方が多いため今はしておりません。

- ・元気なうちは本人の意向にそった形ということでもいいと思うが、介護が必要になった場合は法人内にある介護施設に移ることは可能なものか。

可能です。様々な理由によりグループホームから矢立育成園に移ったケースもあり、法人施設へ繋いだケースもあります。

- ・身元引受人がいない方はいますか。また、お墓や財産等は把握できているものか。

入居中の方で身元引受人がいない方がおります。後見人といった話も出てきますが行政に相談すると、本人にまだ意思決定能力があり意思疎通がとれている状態であれば後見人は必要ないと言われてしまうのが現状です。また、財産やお墓の問題が出てしまったケースも過去にあり今後は入所する際は戸籍謄本を提出してもらう等を促すなどしていきたいと考えております。

- ・過去に別の施設で意思決定ができなくなった利用者に多額の金額が貯まり今後どうしたらいいかとの相談を受けたことがあった。身寄りのない方で意思決定能力があ

るうちに死後事務整理が必要なケースは今後もっと増えてくる可能性があるため、いざという時のために何かしらの線は繋いでおくに越したことはないでしょうか。

今後新規を受け入れする場合は戸籍謄本を提出してもらおう等の対応も考えています。

【福祉の関係者 E様】

- ・法人後見というものは行っていないのか。また、グループホーム利用者の後見人手続きを法人が担うことはできるのか。

大館圏域ふくし会では行っていないため法人では後見を担うことができません。

【福祉の関係者 E様】

成年後見人となると裁判所も絡んでくる案件となり簡単ではないだろうと思われる。

【地域の関係者 C様】

- ・白沢地区への行事へもぜひ参加してほしい。粕田神社の清掃に参加しているのは目にしたが側溝清掃や白沢地区の夏祭り、公民館祭などもあるので参加してほしい。

【保護者代表 D様】

グループホーム利用者は白沢地区の行事によく参加してくれている。夏祭りや公民館祭にも参加してくれていた。

○その他

【福祉の関係者 F様】

- ・矢立育成園は地域密着型でとてもいいと感じた。白沢と統合しても地域の方々と協力して事業を進めていくことができればと思う。本日はありがとうございました。

【矢立育成園施設長より】

本当に地域の協力あつての事業だと感じております。これからも地域で何かあれば声をかけていただきたいと思いますので今後ともよろしく願いいたします。

本日は貴重なご意見や情報をありがとうございました。

以 上